※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　学共生科

教科	学共生	科目	（学）カウンセリング入門	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

心理テストや映像を通して、自分を見つめたり、他者理解をはかったり、心について考えてもらいます。そのためには、自分の気持ちや考えを書いて表現することが大切なので、かなりの量の作文を通して力をつけ、自分を見つめてもらいます。

２　学習の到達目標

心理学の基礎知識を学び、自己や他者の心についての理解を深め、共感力を育む。
(1) 心理テストや映像を通して、自分自身や他者を理解するための知識を身に付け、カウンセリングを行えるようになる
(2) 自分を見つめ、自分の特徴や人間一般の心の問題についての考えを表現する力を養う
(3) 自分自身や他者を理解するために積極的に取り組む態度を養う

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	心理テストやワーク、映像等とその解説を通して、心についての知識やスキルが身についたかどうかを評価する。	心理テストやワークを通じて自分を見つめ、自分の特徴や人間一般の心の問題について考えそれを自分の考えとしてうまく表現したかどうか、映像等とその解説を通して、心について考え、自分の考えたこと、感じたことを的確にうまく表現できたかどうかを評価する。	心理テストやワークに積極的に取り組み、課題プリント・ワークシートや感想文に積極的主体的に取り組めていたかどうか。グループワーク等への参加状況や映像視聴に取り組む態度を評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
４月５月６月７月８月９月	自己理解	各種心理テストとグループワークを使い、自己の性格を理解させる	a:自己理解が進んだかどうか b:ワークシートや感想文にしっかり表現できているかどうか c:心理テストやワークへの参加とり組み状況	自分についての理解度をワークシートや課題作文を使用	自己分析を表現できているかどうかワークシートや課題作文を使用	取り組む態度を課題等の提出量
	青年期の諸課題	発達心理学および臨床心理学等の基礎及び現代の青年期の心に関する諸課題（いじめ、薬物、自傷行為等）	a:心理や諸課題についての知識技能 b:課題や感想文の内容が課題等に即して的確に表現できているかどうか c:一定基準の文章表現の量と提出物の量	心理や諸課題についての知識技能の量をはかるのにワークシートや課題作文を使用	課題や感想文の内容が課題等に即して的確に表現できているかどうかワークシートや課題作文を使用して評価	取り組む態度を課題等の提出量
10月～3月	前期に同じ					

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度